



## 平成26年度喫煙対策実施状況調査の結果の概要

進めよう！健やか山梨 21

○調査概要 県のたばこ対策推進の基礎資料とするため実施。抽出した県内1,161の事業所（国及び県の機関、市町村、学校、従業員が50人以上の民営事業所、病院）に郵送し、衛生管理者及び施設管理者に回答を求め、740事業所（63.7%）から回答があった。平成2年から隔年で実施している。

○喫煙率 男性は27.6%、女性は7.8%であった。

(男性)	H6	50.4%	→	H16	33.6%	→	H26	27.6%
(女性)	H6	6.1%	→	H16	8.9%	→	H26	7.8%

平成22年以降男女とも喫煙率の減少は認められない。特に、女性は横ばい傾向が続いている。

○年代別の喫煙状況

男女とも30歳代の喫煙率が最も高い（男31.1%、女9.1%）。次いで、40歳代の喫煙率が高い結果だった。出産育児世代の喫煙率が高い状況となっている。

○受動喫煙防止対策

今回の調査で新たに設けた設置喫煙場所の項目では、「建物の出入口近傍」が最も多い結果となった。平成25年2月厚生労働省事務連絡「喫煙場所を出入口から極力離す」旨の認知度も37.6%と高くない状況から、さらに受動喫煙防止対策について周知を図る必要がある。